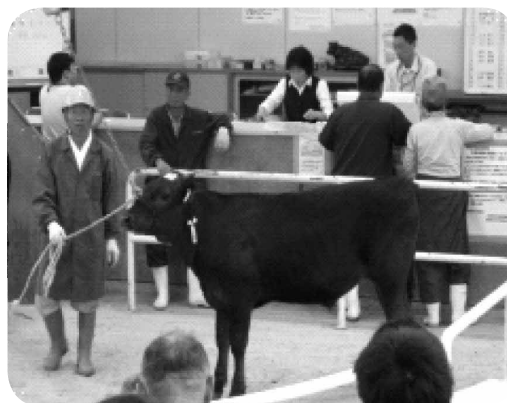


## 〔技術のページ〕

# 「おかやま四ツ☆子牛」の取組について ～発育良好な子牛を岡山子牛市場へ～

畜産研究所 飼養技術研究室 生産性向上研究グループ

岡山県では、子牛市場に上場される和牛子牛の資質向上を目指し、特に肥育農家の求める発育良好な子牛の生産を目的として、「おかやま四ツ☆子牛」（以下、「四ツ☆子牛」という）の取組を行っています。この取組は、県及び畜産関係団体で構成された「岡山和牛子牛資質向上対策協議会」による活動で、今年で10年目を迎え、徐々に成果を上げていますので、ご紹介します。



### 1 おかやま四ツ☆子牛認定基準

おかやま四ツ☆子牛では、その認定基準を次の通り定めています。

#### ①出荷日齢

雌子牛225日齢以上285日齢未満のもの  
去勢子牛215日齢以上275日齢未満のもの

#### ②体高及び胸囲

全国和牛登録協会が示す発育基準の1.0σ以上のもの

#### ③胸囲と腹囲の差 22cm以上のもの

#### ④過肥でないこと、著しい瑕疵・損傷のないこと

以上、4項目の基準をすべて満たした子牛を四ツ☆子牛に認定し、リボンを装着された認定牛がセリにかけられます。

した。認定率は、この5年間で13.0%から21.6%と着実に上昇し、農家の皆さんも手応えを感じている状況です。また、四ツ☆子牛認定牛と体測結果不適合子牛との価格差は、昨年度8万円台となり、1割以上高値で取引されています。これは、生産者だけでなく購買者においても、この認定制度が浸透してきたことを示しています。

表1 四ツ☆子牛認定率と販売価格の動向 (円：税抜)

年度	上場頭数	四ツ☆子牛			体測不適牛 平均価格	差額
		頭数	認定率	平均価格		
H24	3,020	393	13.0%	429,054	373,228	55,826
H25	2,944	511	17.4%	508,561	446,737	61,824
H26	2,682	495	18.5%	552,157	493,402	58,755
H27	2,632	466	17.7%	656,434	588,661	67,773
H28	2,530	546	21.6%	789,952	705,489	84,463
H29上期	1,161	226	19.1%	756,867	668,997	87,870

注) 本人取り除く、価格は、税別。

### 2 四ツ☆子牛の市場評価

認定基準を満たした四ツ☆子牛の直近5年間の認定率と価格動向を表1に示しま

次に、岡山子牛市場への出荷牛の追跡調査を行い、判明した枝肉成績を表2に示しました。

表2 四ツ☆子牛の枝肉成績 (平成21年度～現在)

区分	子牛市場での成績						その後の枝肉成績								
	頭数	日齢	体重	体重σ	体高	胸腹差	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯	脂肪交雑	4・5等級	5等級	歩留		
去勢	全体	8,704	260	281.0	0.83	115.1	1.16	28.7	486.0	56.5	6.09	70%	24%	87%	
	体測結果不適	6,431	264	275.7	0.43	114.4	0.83	28.8	478.2	55.9	5.96	67%	22%	87%	
	体型等審査不適	862	246	296.8	2.01	116.6	2.17	28.3	509.9	57.3	6.23	74%	26%	86%	
	(うち過肥)	(245)	247	300.0	2.04	116.1	1.94	27.4	502.6	55.4	6.16	73%	23%	83%	
	四ツ☆子牛	1,411	247	295.6	1.90	116.9	2.22	26.5	28.4	506.7	58.9	6.59	81%	31%	88%
雌	全体	3,856	270	265.4	0.61	111.7	0.50	29.6	442.1	55.9	5.85	63%	19%	83%	
	体測結果不適	3,213	274	261.7	0.42	111.2	0.24	29.7	435.7	55.5	5.79	61%	19%	83%	
	体型等審査不適	337	256	282.7	1.55	114.4	1.66	27.2	29.3	470.9	56.8	5.99	65%	22%	82%
	(うち過肥)	(181)	257	288.0	1.68	114.4	1.63	26.8	29.3	472.0	56.2	5.96	67%	20%	78%
	四ツ☆子牛	306	255	284.3	1.64	114.9	1.83	25.8	29.4	478.2	59.5	6.4	76%	25%	82%

おかやま四ツ☆子牛は、枝肉重量、ロース芯面積ともに大きく、肉質面においても肉質等級4等級以上の割合が全体平均より10ポイント以上高く、四ツ☆子牛の高い評価を裏付ける結果となっています。

### 3 四ツ☆子牛の発育

去勢と雌について、体高の $\sigma$ 値（標準偏差：1 $\sigma$ を超えると上位16%以内、2 $\sigma$ を超えると上位2.3%以内）を図1に示しました。四ツ☆子牛の体高の $\sigma$ 値は、去勢で2 $\sigma$ 以上、雌で1.5 $\sigma$ 以上となりました。四ツ☆子牛以外についても、平均体高 $\sigma$ 値は、去勢では平成25年から1 $\sigma$ を超えるようになりました。一方、雌では、1 $\sigma$ には届いていませんが、標準発育を上回っており値は年々上昇しています。これは、認定制度の取組により生産者の意識が変わり、四ツ☆子牛の認定基準を目標にして生産に取り組んだ結果が反映されたものと思われます。

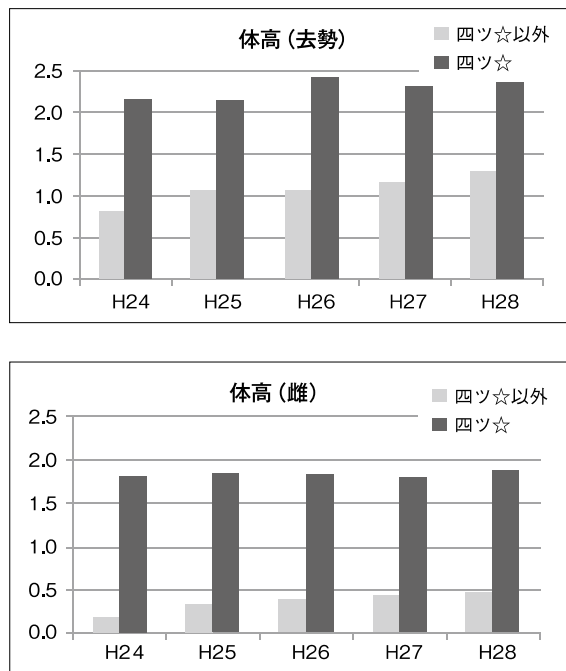


図1 体高 $\sigma$ 値の推移

### 4 認定に向けた注意点

四ツ☆子牛認定基準のうち、出荷日齢及び体測基準をクリアした子牛は、過肥、瑕疵、損傷等がないか確認されます。その審査で不合格となった理由を表3に示しました。

表3 四ツ☆子牛不合格理由

	H25	H26	H27	H28
1位	過肥(28%)	過肥(22%)	過肥(23%)	背(25%)
2位	背(18%)	背(20%)	背(20%)	過肥(21%)
3位	肩付(17%)	肩付(19%)	肩付(17%)	肩付(21%)
4位	爪(9%)	爪(10%)	爪(10%)	爪(14%)
5位	幅がない(6%)	幅がない(6%)	過大(5%)	骨(4%)

( )は、不合格頭数に占める割合

中でも割合の多い「過肥」は、飼料給与量を適正に管理すれば改善が可能です。また、「爪」も出荷前の削蹄により改善が可能です。ちょっとした手入れで、評価の高い子牛づくりができ、四ツ☆子牛の認定や販売価格の向上も可能と考えられます。

### 5 最後に

四ツ☆子牛認定率の当面の目標は、去勢・雌ともに30%としておりますが、この活動を通じて、引き続き県産子牛の資質向上を図り、岡山子牛市場の活性化を図って参りたいと考えています。



リボン装着された四ツ☆子牛

(脇本進行)